

先天性耳小骨奇形の術後成績に関する研究

1. 研究の対象

2011年1月～2021年12月に当院にて先天性耳小骨奇形で手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

先天性耳小骨奇形は手術で聴力改善が可能な疾患です。以前は顕微鏡下にアブミ骨手術や耳小骨形成術を行っていましたが（MES）、2013年に以降はほとんど低侵襲な経外耳道的内視鏡下耳科手術（TEES）で行っています。本研究ではMES群とTEES群で術後聴力成績や手術時間などを比較し、TEESの有用性について検討します。研究期間は倫理委員会承認日から2024年3月までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：奇形の種類、術前後の聴力検査の結果、術式、手術時間、術後の経過等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部耳鼻咽喉科学

電話：088-880-2393

担当：小林泰輔

研究責任者：上記連絡先担当者